

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	56.3	49.9	6.4
(67)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	67.0	59.6	7.4

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	64.9	60.7	4.2
(30-7)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる	「とてもそう思う」と回答した児童の割合	49.3	46.3	3.0
(38)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	50.8	47.7	3.1
(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	41.3	37.5	3.8

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している」と回答した児童の割合	78.8	83.3	-4.5
(29-1)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますと思いますか	「とてもそう思う」と回答した児童の割合	35.4	39.3	-3.9
(32)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	「当てはまる」と回答した児童の割合	25.7	29.0	-3.3
(68)	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	45.5	49.5	-4.0

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「している」と回答した児童の割合	31.6	38.9	-7.3
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	「している」と回答した児童の割合	50.1	55.6	-5.5
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した児童の割合	47.9	54.0	-6.1
(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した児童の割合	38.9	47.1	-8.2

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(7)	「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市64.9%（全国60.7%、愛媛県63.3%）と高い数値を示しています。令和5年度より全面实施となっている今治市独自の事業「今治モデル『ふるさとキャリア教育』」の実践の積み重ねを通じて、良好な職業観を有し、夢を持ち、それを実現しようとする意欲に繋がっていると考えています。今後も、産学官で連携し、次世代を担い未来を創る今治の子どもたちが、将来に夢や希望を抱くことができるよう支援していきたいと考えています。
(12)	「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた児童は、本市56.3%（全国49.9%、愛媛県51.5%）となっており、高い数値を示しています。「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の問いに関しても高い数値を示しています。これまでに引き続き、教師が、児童の良い行いを認め賞賛したり、子どもたちの主体性を尊重した教育活動を展開したりすることで、児童の自己肯定感を育む取組が行われている成果だと考えられます。今後も教師と児童、児童同士の人間関係を良好に保ちながら充実した学校生活を送ることができるよう支援していきたいと考えています。
(67)	「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」の問いに、「当てはまる」と答えた小学校児童は、本市67%（全国59.6%、愛媛県63.1%）と高い数値を示しています。ICT機器の活用も進んでいますが、実際に体験することから学ぶことも多くあると考えられます。今後も、実験・観察の機会を確保するとともに、ICT機器の効果的な活用を図ったアナログとデジタルのベストミックスを目指した教育を推進していきたいと考えています。
(1)	「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の問いに、「している」と答えた児童は、本市78.8%（全国83.3%、愛媛県79.9%）、本市31.6%（全国38.9%、愛媛県37.4%）、本市50.1%（全国55.6%、愛媛県54.8%）と低い数値を示しています。
(2)	基本的な生活習慣の定着は、本市の課題の一つであり、小学校において「している」と答えた児童の割合は、令和3年度（82.4%、36.6%、58%）→令和7年度（78.8%、31.6%、50.1%）と減少しております。朝の会や帰りの会、保健の授業において継続して指導していますが、十分な定着には至っていません。今後、家庭の理解と協力を得ながら、基本的な生活習慣の定着を目指していく必要があると考えています。
(17)	「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の問いに、「1時間以上している」と答えた児童は、本市47.9%、（全国54%、愛媛県59.6%）、本市38.9%、（全国47.1%、愛媛県51%）と低い数値を示しています。家庭学習の定着については、本市の課題の一つであり、小学校において「1時間以上している」と答えた児童の割合は、令和3年度（60.8%、60.5%）→令和7年度（47.9%、38.9%）と、減少しております。各学校でも、「家庭学習の手引き」を作成したり、家庭学習強調週間を設けたりするなど、各学校で学校の実情に応じた取組で各家庭への啓発を行っているところです。今後は更に学校と家庭が連携を図るとともに、放課後児童クラブ等や地域への働き掛けも強化していく必要があると思います。

※ 設問については一部掲載しています。